

(案)

委 託 契 約 書

- 1 業 務 名 称 埼玉県立がんセンター空気調和設備包括管理業務
- 2 履 行 場 所 埼玉県北足立郡伊奈町小室780番地及び818番地
- 3 履 行 期 間 令和4年6月1日から令和5年3月31日まで
各会計年度における支払限度額は、次のとおりとする。
- 4 委 託 金 額 金 , , 円
(うち取引に関わる消費税及び地方消費税の額 金 , , 円)
- 5 契 約 保 証 金 地方独立行政法人埼玉県立病院機構契約事務取扱規程26条第1項
第1号により百分の十以上
同第26条第2項のいずれかに該当する場合は免除することができる。
- 6 前 払 金 なし
- 7 その他特定条件 業務委託料の支払いは、業務履行について支払月毎に検査を行い、合格した場合に、別紙支払内訳書に定める額を支払うものとする。

上記の委託業務について、委託者 地方独立行政法人埼玉県立病院機構と受託者は、各々の対等な立場における合意に基づいて、別添の条項によって公正な委託契約を締結し、信義に従って誠実にこれを履行するものとする。

この契約の成立を証するため、本書2通を作成し、当事者記名押印の上、各自1通を所持する。

令和 年 月 日

発 注 者 埼玉県北足立郡伊奈町小室780番地
地方独立行政法人埼玉県立病院機構
埼玉県立がんセンター病院長 影山 幸雄

受 注 者

別添

(総則)

第1条 委託者（以下「甲」という。）と受託者（以下「乙」という。）は、この契約書（仕様書を含む。以下同じ。）に従い、日本国の法令を遵守し、この契約を履行しなければならない。

2 乙は、常に善良なる管理者の注意をもって契約書記載の委託業務（以下「業務」という。）を履行しなければならない。

3 乙は、業務を契約書記載の履行期間（以下「履行期間」という。）内に完了し、契約の目的物がある場合には甲に引き渡すものとし、甲は、その委託金額を支払うものとする。

4 この契約の履行に関して甲と乙との間で用いる言語は、日本語とする。

5 この契約に定める金銭の支払に用いる通貨は、日本円とする。

6 この契約における期間の定めについては、民法（明治29年法律第89号）及び商法（明治32年法律第48号）の定めるところによるものとする。

7 この契約は、日本国の法令に準拠するものとする。

8 この契約に係る訴訟の提起又は調停の申立てについては、日本国の裁判所をもって合意による専属的管轄裁判所とする。

(権利義務の譲渡等の禁止)

第2条 乙は、この契約により生ずる権利又は義務を第三者に譲渡し、若しくは担保に供し、又は引き受けさせてはならない。ただし、あらかじめ甲の書面による承認を得た場合は、この限りでない。

(再委託等の禁止)

第3条 乙は、業務の全部又は一部を他に委託し、又は請け負わせてはならない。ただし、あらかじめ甲の書面による承認を得た場合は、この限りでない。

(監督員)

第4条 甲は、監督員を置いたときは、書面をもって乙に通知しなければならない。その者を変更したときも、同様とする。

(業務責任者)

第5条 乙は、業務責任者を定め、書面をもって甲に通知しなければならない。その者を変更したときも、同様とする。

(業務の調査等)

第6条 甲は、必要があると認めるときは、乙に対し業務の処理状況につき調査し、又は報告を求めることができる。

(契約の変更)

第7条 甲は、必要があるときは、乙と協議の上、この契約の内容を変更することができる。

(履行期間の延長)

第8条 乙は、その責めに帰することができない理由により、履行期間内に業務を完了することができないことが明らかとなったときは、甲に対して遅滞なくその理由を明示した書面をもって履行期間の延長を求めることができる。

2 甲は、前項の規定による請求があった場合は、その内容を検討し、正当であると認めたときは、履行期間を延長することができる。

(損害のために必要を生じた経費の負担)

第9条 業務の処理に関して発生した損害（第三者に及ぼした損害を含む。）のために生じた経費は、乙が負担するものとする。ただし、甲の責めに帰すべき理由により生じたものについては、甲が負担するものとする。

(検査)

第 10 条 乙は、業務を完了したときは、遅滞なくその旨を書面をもって甲に通知しなければならない。

2 甲は、前項の通知を受けたときは、その日から 10 日以内に業務の完了を確認するための検査を行わなければならない。

3 乙は、前項の検査に合格しないときは、遅滞なく当該業務の補正を行い、甲の検査を受けなければならない。この場合、補正の完了を業務の完了とみなして前 2 項の規定を適用する。

(委託金額の支払)

第 11 条 乙は、前条の規定による検査に合格したときは、甲の指示する手続に従って委託金額の支払を請求するものとする。

2 甲は、適法な請求書を受領した日から 30 日以内に、乙に委託金額を支払わなければならない。

(履行遅滞の場合の違約金等)

第 12 条 乙の責めに帰すべき理由により履行期間内に業務を完了することができなかったときは、遅延日数に応じ、委託金額に年 2.5 パーセントの割合を乗じて計算した金額を違約金として甲に支払わなければならない。ただし、違約金の総額が 100 円に満たないときは、この限りでない。

2 甲の責めに帰すべき理由により、前条第 2 項の規定による委託金額の支払が遅れた場合は、乙は、その遅延日数に応じ、未受領金額に年 2.5 パーセントの割合を乗じて計算した額の遅延利息の支払を甲に請求することができる。ただし、遅延利息の総額が 100 円に満たないときは、甲は、これを支払うことを要しないものとし、その額に 100 円に満たない端数があるときは、その端数を切り捨てるものとする。

(談合等の不正行為に係る損害の賠償)

第 13 条 この契約に関し、乙（共同企業体の場合にあっては、その構成員）が、次の各号のいずれかに該当したときは、乙は、甲の請求に基づき、この契約の委託金額（この契約締結後、委託金額の変更があった場合には、変更後の委託金額）の 10 分の 2 に相当する額を賠償金として甲の指定する期間内に支払わなければならない。契約を履行した後も同様とする。

(1) この契約に関し、乙が私的独占の禁止及び公正取引の確保に関する法律（昭和 22 年法律第 54 号。以下「独占禁止法」という。）第 3 条の規定に違反し、又は乙が構成事業者である事業者団体が独占禁止法第 8 条第 1 号の規定に違反したことにより、公正取引委員会が乙に対し、独占禁止法第 7 条の 2 第 1 項又は第 8 条の 3 の規定に基づく課徴金の納付命令（以下「納付命令」という。）を行い、当該納付命令が確定したとき（確定した当該納付命令が独占禁止法第 63 条第 2 項の規定により取り消された場合を含む。）

(2) 納付命令又は独占禁止法第 7 条若しくは第 8 条の 2 の規定に基づく排除措置命令（これらの命令が乙又は乙が構成事業者である事業者団体（以下「乙等」という。）に対して行われたときは、乙等に対する命令で確定したものをいい、乙等に対して行われていないときは、各名宛人に対する命令すべてが確定した場合における当該命令をいう。次号において「納付命令又は排除措置命令」という。）において、この契約に関し、独占禁止法第 3 条又は第 8 条第 1 号の規定に違反する行為の実行としての事業活動があったとされたとき。

(3) 納付命令又は排除措置命令により、乙等に独占禁止法第 3 条又は第 8 条第 1 号の規定に違反する行為があったとされた期間及び当該違反する行為の対象となった取引分野が示された場合において、この契約が、当該期間（これらの命令に係る事件について、公正取引委員会が乙に対し納付命令を行い、これが確定したときは、当該納付命令における課徴金の計算の基礎である当該違反する行為の実行期間を除く。）に入札（見積書の提出を含む。）が行わ

れたものであり、かつ、当該取引分野に該当するものであるとき。

(4) この契約に関し、乙（法人の場合にあつては、その役員又はその使用人を含む。）の独占禁止法第89条第1項に規定する刑が確定したとき。

(5) この契約に関し、乙（法人の場合にあつては、その役員又はその使用人を含む。）の刑法（明治40年法律第45号）第96条の6に規定する刑が確定したとき。

2 前項の規定は、甲に生じた損害額が前項に規定する損害額を超える場合は、甲がその超過分について賠償を請求することを妨げるものではない。

3 乙が前2項の賠償金を甲の指定する期間内に支払わないときは、乙は、当該期間を経過した日から支払をした日までの日数に応じ、年2.5パーセントの割合で計算した額の遅延利息を甲に支払わなければならない。

（甲の催告による契約の解除）

第14条 甲は、乙が次の各号のいずれかに該当するときは、相当の期間を定めてその履行を催告し、その期間内に履行がないときは、この契約を解除することができる。ただし、その期間を経過した時における債務の不履行が、この契約及び取引上の社会通念に照らして軽微であるときは、この限りでない。

(1) 正当な理由なく受託した業務に着手すべき期日を過ぎても着手しないとき。

(2) 履行期間内に受託した業務が完了しないとき又は完了する見込みがないと認められるとき。

(3) 前各号に掲げる場合のほか、この契約の義務を履行しないとき。

（甲の催告によらない契約の解除）

第15条 甲は、乙が次の各号のいずれかに該当するときは、直ちにこの契約を解除することができる。

(1) 第2条の規定に違反して業務委託料債権を譲渡したとき。

(2) この契約の締結及び履行に当たり、不正の行為をしたとき。

(3) 履行期間内に受託した業務を完了させることができないことが明らかであるとき。

(4) この契約の債務の全部の履行を拒絶する意思を明確に表示したとき。

(5) この契約の債務の一部の履行が不能である場合又はその債務の一部の履行を拒絶する意思を明確に表示した場合において、残存する部分のみでは契約をした目的を達することができないとき。

(6) この契約の受託した業務の性質又は当事者の意思表示により、特定の日時又は一定の期間内に履行しなければ契約をした目的を達することができない場合において、乙が履行をしないうでその時期を経過したとき。

(7) 前各号に掲げる場合のほか、乙がその債務を履行せず、甲が前条の催告をしても契約をした目的を達するのに足りる履行がされる見込みがないことが明らかであるとき。

(8) 乙からこの契約の解除の申入れがあったとき。

(9) 乙（乙が共同企業体であるときは、その構成員のいずれかの者。以下この号において同じ。）が次のいずれかに該当するとき。

ア 役員等（乙が個人である場合にはその者を、乙が法人である場合にはその役員又はその支店若しくは常時契約を締結する事務所の代表者をいう。以下この号において同じ。）が暴力団員による不当な行為の防止等に関する法律（平成3年法律第77号）第2条第6号に規定する暴力団員（以下「暴力団員」という。）であると認められるとき。

イ 暴力団（暴力団員による不当な行為の防止等に関する法律第2条第2号に規定する暴力団をいう。以下同じ。）又は暴力団員が経営に実質的に関与していると認められるとき。

ウ 役員等が自己、自社若しくは第三者の不正な利益を図る目的又は第三者に損害を加える

目的をもって、暴力団又は暴力団員を利用するなどしたと認められるとき。

エ 役員等が、暴力団又は暴力団員に対して資金等を供給し、又は便宜を供与するなど直接的あるいは積極的に暴力団の維持、運営に協力し、若しくは関与していると認められるとき。

オ 役員等が暴力団又は暴力団員と社会的に非難されるべき関係を有していると認められるとき。

カ 再委託契約その他の契約（以下「再委託契約等」という。）に当たり、その相手方がアからオまでのいずれかに該当することを知りながら、当該者と契約を締結したと認められるとき。

キ 乙が、アからオまでのいずれかに該当する者を再委託契約等の相手方としていた場合（カに該当する場合を除く。）に、甲が乙に対して当該再委託契約等の解除を求め、乙がこれに従わなかったとき。

2 甲は、第1項各号に規定する場合のほか、必要があるときは、乙と協議して契約を解除することができる。

（乙の損害賠償義務等）

第16条 第14条及び前条第1項の規定により、この契約が解除されたときは、次の各号に掲げる区分に応じ、当該各号に定めるとおりとする。ただし、当該解除の理由が乙の責めに帰することができないものであると甲が認めたときは、この限りでない。

(1) 契約保証金が免除されているとき 乙は、委託金額の10分の1に相当する額を違約金として甲の請求に基づき甲に支払わなければならない。

(2) 契約保証金が納付されているとき 当該契約保証金は甲に帰属するものとする。ただし、当該契約保証金の額が委託金額の10分の1に相当する額に満たないときは、乙は、その不足額を違約金として甲の請求に基づき甲に支払わなければならない。

2 前項の場合において、甲に生じた損害の額が、当該契約保証金及び当該違約金の額を超えるときは、乙は、その超える額を甲の請求に基づき速やかに甲に支払わなければならない。

3 第14条及び前条第1項の規定により、この契約が解除された場合において、解除により乙に損害があっても、甲はその責めを負わないものとする。

（秘密の保持等）

第17条 乙は、業務の履行に関して知り得た秘密を第三者に漏らし、又は業務の履行以外の目的に利用してはならない。この契約が終了し、又は解除された後においても同様とする。

（契約の費用）

第18条 この契約の締結に要する費用は、乙の負担とする。

（暴力団員等からの不当な要求の報告）

第19条 乙は、乙又は再委託契約等の相手方が、この契約又は当該再委託契約等の履行に当たり、暴力団員又は暴力団関係者（暴力団の活動若しくは運営に積極的に協力し、又は関与する者その他の暴力団又は暴力団員と密接な関係を有する者をいう。次項において同じ。）から不当な要求を受けたときは、遅滞なく、甲への報告、警察本部又は警察署への通報（次項において「報告等」という。）をしなければならない。

2 乙は、再委託契約等の相手方に対し、当該再委託契約等の履行に当たり、暴力団員又は暴力団関係者から不当な要求を受けたときは、遅滞なく、報告等をするよう措置を講じなければならない。

（定めのない事項等）

第20条 この契約に定めのない事項及びこの契約に関して疑義が生じた場合については、甲、乙協議して定めるものとする。

別紙

埼玉県立がんセンター空気調和設備包括管理業務
支払内訳書

支払月	金額 (うち取引に係る消費税 及び地方消費税)
令和4年 6月	金 円 (金 円)
〃 7月	金 円 (金 円)
〃 8月	金 円 (金 円)
〃 9月	金 円 (金 円)
〃 10月	金 円 (金 円)
〃 11月	金 円 (金 円)
〃 12月	金 円 (金 円)
令和5年 1月	金 円 (金 円)
〃 2月	金 円 (金 円)
〃 3月	金 円 (金 円)
合 計	金 円 (金 円)

特記仕様書

埼玉県立がんセンターの空気調和設備包括管理業務は、この特記仕様書に従って実施するものとする。

1. 業務概要

- (1) 業務名称 埼玉県立がんセンター空気調和設備包括管理業務
- (2) 場 所 埼玉県北足立郡伊奈町小室780番地(病院棟), 埼玉県北足立郡伊奈町小室818番地(研究棟、医師・第一職員公舎)
- (3) 委託期間 令和4年6月1日～令和5年3月31日
- (4) 目 的 埼玉県立がんセンター空気調和設備の機能を維持し、設備の効率的な運転と、良好な執務環境の保持を目的とし、空気調和設備保守点検を、関係法規及び以下に定める事項により行う。

2. 業務内容

保守点検

- (1) 設備の法定点検
- (2) 設備の調査、分析
- (3) 設備の不具合箇所の調整及び軽微な補修

3. 点検対象設備

別表－１のとおり。

4. 点検業務

- (1) 保守点検は、「建設大臣官房官庁営繕部監修 建築保全業務共通仕様書 平成30年版」をもとに別紙各機器点検表により行うこと。
- (2) 上記「建築保全業務共通仕様書」に定めがなくても保守管理上必要なものについては、誠意を持って点検すること。
- (3) 受注者は、年間設備点検実施計画書を作成し、これを事前に発注者に提出し、発注者の承諾を受けること。
- (4) 点検予定表を提出し、発注者の承諾を受けること。
- (5) 点検の結果、異常を発見した場合は、直ちに適切な処置を行い、発注者にその結果を報告すること。
- (6) 整備については下記による。
 - ア、不測の障害が発生した場合は直ちに発注者に連絡し、指示により速やかに応急処置を行うこと。
 - イ、点検の結果、修理を要すると認めたときは、その都度、遅滞なく発注者に報告し指示を受けること。
 - ウ、保守業務を行う時期については、作業工程表を作成し発注者の承諾を得て作業日程を確定し業務を行うこと。

5. その他

法定点検にあたっては所轄官公庁への手続きも本業務に含む。これに要する費用は受注者の負担とする。

「業務対象設備」

設 備 名	対 象 設 備
1. 空気調和設備	(1) 熱源機器設備 ・空冷チラー ・ターボ冷凍機 ・吸収式冷凍機 ・ボイラー ・還水槽 ・軟水槽 ・加湿原水槽 ・膨張タンク ・蒸気発生器 ・硬水軟水化装置 ・熱交換器 ・ポンプ ・冷却塔 ・コジェネレーション ・ヘッダー類 (2) 空調機器設備(冷凍・冷蔵庫) ・冷凍冷蔵庫 (3) 空調調和設備 ・ファンコイルユニット ・給気、排気ファン ・パッケージエアコン ・蒸気加湿器 ・定風量、変風量装置 ・クリーンファンユニット ・クリーンファンコイル ・外調機
2. 自動制御設備	1 中央管制装置-病院棟, 研究棟, 第一職員公舎 ・セントラルシステム ・セントラルシステム周辺機器 2 ローカル制御機器(病院棟) ・熱源廻り制御 ・空調機制御 ・ファン発停制御 ・オイルタンク廻り制御 ・水槽廻り、水槽監視 ・貯湯槽制御 ・漏水警報監視 ・計測系統 ・スマートエネルギーネットワーク廻り制御 3 ローカル制御機器(研究棟) ・熱源廻り制御 ・熱交換機制御 ・外調機制御 ・貯湯槽制御 ・還水槽制御 ・計測系統 4 ローカル制御機器(第一職員公舎) ・蓄熱槽、貯湯槽熱源廻り制御 5 その他 ・24時間緊急要請対応
3. その他	フロン排出抑制法に伴う点検 ・ターボ冷凍機 ・空冷チラー ・パッケージエアコン 機器整備等 ・オイルサービスタンク ・オイルポンプ ・蓄熱槽 ・クリーンルームダスター ・光速ストリーマー ・水平層流無菌病室システム(アイソレータ)

※指示により、軽微な修理等を行う

別表－2

■空気調和設備(熱源機器設備)

設備仕様	定期点検 ・ 測定業務	今回業務 実施項目	点検 サイクル	法定/自主	備考
空冷チラー 20台 (病院棟3セット18台) (研究棟1セット2台)	<ul style="list-style-type: none"> 定期点検 圧縮機・送風機点検 保安部品交換(クランクケースヒータ・圧力開閉器) 電磁・電動弁類交換 検出器類(サーミスタ・圧力センサー)交換 ポンプ点検 電装器類(基盤・ヒューズ)交換 熱交換器(薬液洗浄) 	○ ○ ○ ○ ○ 	2回/年 1回/年 1回/3年 1回/8年 1回/5年 1回/年 1回/5年 1回/3年		 病院棟6台 病院棟6台
ターボ冷凍機 1台 (病院棟1台)	<ul style="list-style-type: none"> 年間保守点検 冷媒オフ・イン整備 巡回点検 法定点検 凝縮器伝熱管ブラシ洗浄 電気盤絶縁測定他点検清掃 潤滑油交換 圧縮機分解整備点検 凝縮器伝熱管減肉検査 吸込・吹出ベーンモーター交換 インバーター装置点検整備 4年毎点検 8年毎分解整備 マイコン電源ユニット他計装部品交換 チューブ薬品洗浄および過流探傷検査 上記点検についての調査報告書の提出 	○ ○ ○	2回/年 1回/年 1回/年 1回/年 1回/年 1回/年 1回/年 1回/年 1回/7年 1回/5年 1回/10年 1回/4年 1回/6年 1回/6年 1回/年		
吸収式冷凍機 1台 (病院棟1台)	<ul style="list-style-type: none"> 年間保守点検 冷房中間点検 定期整備 チューブ清掃 チューブ化学薬品洗浄 チューブ渦流探傷検査 保守消耗品 	○ ○ ○	4回/年 1回/年 1回/5年 1回/年 1回/年 1回/年 1回/年		

■空調和設備(熱源機器設備)

設備仕様	定期点検 ・ 測定業務	今回業務 実施項目	点検 サイクル	法定/自主	備考
ボイラー 5台 (病院棟3台) (研究棟2台)	<ul style="list-style-type: none"> ・ 定期自主点検 ・ 性能管理 ・ 機能点検 ・ 水処理管理(中和処理装置、全自動軟水装置) 	○ ○ ○ ○	1回/年 1回/年 1回/年 1回/年		
還水槽 3基 (病院棟2基) (研究棟1基)	<ul style="list-style-type: none"> ・ 槽内清掃 	○	1回/年	自主	
加湿原水槽 1基 (病院棟1基)	<ul style="list-style-type: none"> ・ 槽内清掃 	○	1回/年	自主	
膨張タンク 5台 (病院棟3台) (研究棟2台)	<ul style="list-style-type: none"> ・ 槽内清掃 	○	1回/年	自主	
蒸気発生器 1台 (病院棟1台)	<ul style="list-style-type: none"> ・ 槽内清掃 ・ 逃し弁分解整備 ・ 硬水軟水化装置分解整備 	○ ○ ○	1回/年 1回/年 1回/年		
熱交換器 8台 (病院棟6台) (研究棟2台)	<ul style="list-style-type: none"> ・ プレートガスケット・ディスタンスピース交換 ・ プレート分解・水洗い整備 ・ 外観点検 		1回/3年 1回/3年 1回/年		
ポンプ 41台 (病院棟38台) (研究棟3台)	<ul style="list-style-type: none"> ・ オーバーホール ・ メカニカルシール交換(Ｏリングを含む) ・ 軸受(モーター側・ポンプ側) ・ 外観点検 	○	1回/5年 1回/3年 1回/5年 1回/年		41台の内、発注者が指定する32台をオーバーホールすること。

設備仕様	定期点検 ・ 測定業務	今回業務 実施項目	点検 サイクル	法定/自主	備考
冷却塔 2基 (病院棟2基)	<ul style="list-style-type: none"> ・ FMベアリング・Vベルト交換調整 ・ 点検清掃 ・ ストレーナ清掃(機械直近部のみ) 	○ ○	1回/2年 1回/年 1回/年		
中型CGS (病院棟2基)	・ B種別点検(別紙1) ※No.1を対象とする。	○	1回/年	自主	1回/20,000時間
	・ B種別点検(別紙1) ※No.2を対象とする。	○	2回/年	自主	1回/20,000時間
	・ C種別点検(別紙1) ※No.1を対象とする。	○	1回/7年	自主	1回/20,000時間
	・ C種別点検(別紙1) ※No.2を対象とする。	○	1回/7年	自主	1回/20,000時間
	<ul style="list-style-type: none"> ・ 排ガスボイラー点検 ・ 脱硝装置点検 ・ 停電検査立会作業(系統切換に際する運転停止操作) ・ 熱交換器交換 ・ ポンプ整備 	○ ○ ○	1回/年 1回/年 1回/年 1回/年 1回/年		
小型CGS (第一職員公舎3基)	・ 定期点検・部品交換・オイル交換	○	1回/年		
ヘッダー類 13台 (病院棟10台) (研究棟3台)	<ul style="list-style-type: none"> ・ 漏洩目視確認作業 ・ 上記点検についての調査報告書の提出 	○ ○	1回/年 1回/年	自主	

■空調設備(冷凍・冷蔵庫)

設備仕様	定期点検 ・ 測定業務	今回業務 実施項目	点検 サイクル	法定/自主	備考
冷凍冷蔵庫 (2階検査系) 1台 (病院棟1台)	<ul style="list-style-type: none"> ・ 外観点検 ・ 簡易清掃 	○ ○	1回/年 1回/年		

■空気調和設備(空調機設備)

設備仕様	定期点検 ・ 測定業務	今回業務 実施項目	点検 サイクル	法定/自主	備考
ファンコイルユニット 1094台 (病院棟1089台) (研究棟5台)	<ul style="list-style-type: none"> ・ 電気関係(電圧測定・操作回路絶縁・スイッチ切替等) ・ 送風機関係(ファンモーター確認・ベアリング音等) ・ 熱交関係(空気温度・フィン目視点検等) ・ その他(各所目視点検・運転状況確認等) ・ フィルター清掃 ・ ドレン管閉塞対応 	○ ○ ○ ○ ○ ○	1回/年 1回/年 1回/年 1回/年 1回/年 都度		5箇所/年
給気・排気ファン (片吸込式シロッコファン) 90台 (病院棟 給気12台、排気64台) (研究棟 給気2台、排気12台)	<ul style="list-style-type: none"> ・ 芯出し・グリース注入・ベルト調整 ・ Vベルト交換(材工共) ・ 機器清掃、簡易点検 ・ 軸受(ファン・モーター) ・ Vプーリー 	○ ○ ○	1回/年 1回/年 1回/年 1回/5年 1回/5年		OAC-2-7, 9-1 に接続される安全 キャビネット(7 台)の排気ファン については、部 品交換時にメー カー立会いの 下、風量調整を 実施すること。 (立会費用は受 注者負担) ※系統・メー カーについては 別紙参照 令和4年度 78台実施
パッケージエアコン(PAC) 室内機221台 (病院棟118台) (研究棟103台) 室外機 40台 (病院棟23台) (研究棟17台)	<ul style="list-style-type: none"> ・ 外観点検 ・ フィルター清掃 ・ ファンモーター・電気部品交換 ・ ドレンパン分解清掃 ・ 外観点検 ・ 機器清掃(室外機周り) ・ 定期整備 	○ ○ ○ ○	1回/年 1回/年 1回/3年 都度 1回/年 1回/年 1回/5年		放射線管理区 域個別空調機・ 冷凍設備につい ては、作業時に 放射線安全管 理者に作業内 容の確認と承認 を受けること。 5箇所/年 1回/10,000時間 (研究棟17台)
蒸気加湿器 1台 (病院棟1台)	<ul style="list-style-type: none"> ・ 消耗部品交換 ・ 消耗品交換 ・ 上記点検についての調査報告書の提出 	○ ○ ○	1回/年 1回/年 1回/年		
定風量・変風量装置 27台	<ul style="list-style-type: none"> ・ 作動、開度確認 ・ 風量測定、調整 	○ ○	1回/年 1回/年	自主	病院棟300台、 研究棟29台の 内、発注者が指 定する20台の点 検を行う。

クリーンファンユニット 壁吸込コイルユニット (OPE室) (病院棟56台)	・ HEPAフィルターを除くフィルター清掃 ・ HEPAフィルター交換	○	1回/年 1回/5年		
HEPAユニット (OPE室) (病院棟28台)	・ HEPAフィルターを除くフィルター清掃 ・ HEPAフィルター交換	○	1回/年 1回/5年		
クリーンファンユニット 屋外機 (病院棟14台)	・ 外観点検 ・ 機器清掃(室外機周り)	○ ○	1回/年 1回/年		
クリーンファンコイル 132台 (病院棟125台) (研究棟7台)	・ 作動確認 ・ HEPAフィルターを除くフィルター清掃 ・ HEPAフィルター交換	○ ○	1回/年 1回/年 1回/5年		
フィルターユニット 9台 (病院棟9台)	・ 作動確認 ・ HEPAフィルターを除くフィルター清掃 ・ HEPAフィルター交換	○ ○	1回/年 1回/年 1回/5年		
外調機 29台 (病院棟28台) (研究棟1台)	・ フィルター清掃 ・ 外観点検	○ ○	1回/年 1回/年		

■自動制御設備(中央監視装置)

設備仕様	定期点検 ・ 測定業務	今回業務 実施項目	点検 サイクル	法定/自主	備考
中央管制装置(savic-netFX) 病院棟、研究棟 第一職員公舎 (別紙計装図参照)	・ セントラルシステム ANN・グラフィックドライバマスタ アナンシュレータ システム・マネージメントサーバー システムコアサーバー データストレージサーバー ・ セントラルシステム周辺機器 CRT/KB/MS(21) カラーレーザープリンタ 監視用PC ビルマネージメントシステム 無停電電源装置	○ ○	1回/年 1回/年	自主 自主	総合保守 総合保守 ※非常時別途

■自動制御設備(自動制御装置)

設備仕様	定期点検 ・ 測定業務	今回業務 実施項目	点検 サイクル	法定/自主	備考
ローカル制御機器 病院棟 (別紙計装図参照)	<ul style="list-style-type: none"> 熱源廻り制御 DC24V電源 Inflex GC Pt/I変換器 アイソレーター アクティバル電動2方弁 圧力調整器 圧力発信機 液面警報制御装置 蒸気用渦流量計 蒸気流量演算器 積算熱量計 積算熱量計感温部 挿入形温度調整器 蓄熱槽用温度検出器 デジタル指示調節器 電極リレー 電磁流量計/変換器 電動式バタフライ弁 電動遮断弁 電動ボール弁 排煙濃度計 配管温度検出器 パラマトリクス4 フランジ型電動三方弁 ミズコンプラス調節器 モータドライバー レベルゲージ 	○	1回/年	自主	基本保守
	<ul style="list-style-type: none"> 空調機制御(4)～(7), (12)～(14), (16)～(18), (20)～(22), (24), (26)～(27), (29) DC24V電源 Inflex FC Inflex GC Inflex VC アイソレータ アクティバル2方弁(インテリ) 圧力伝送器 室内形温湿度センサー 室内形温度センサー 遮断弁 挿入型温湿度センサー(インテリ) 挿入形露点センサ(インテリ) 挿入形温度調節器 ダンパー操作器(インテリ) 直結形ダンパ操作器 低トルクアクチュエータ(インテリ) ネオパネル(縦形) ねじ込小型比例2方弁 微差圧スイッチ 微差圧発信器 微差圧表示計 開平演算器 ファンコイル比例弁アクチュエータ ファンコイル用比例2方弁 風量計測器 補助ポテンシオメータ 	○	1回/年	自主	基本保守 CAV用コントローラの点検は定風量装置の動作確認時に実施すること。

	<ul style="list-style-type: none"> スマートエネルギーネットワーク廻り制御 DC24V電源 アイソレータ アクティバル電動2方弁 圧力発信機 インバータ 渦流量計 遮断弁 積算熱量計 積算熱量計感温部 挿入形温度調節器 デジタル指示調節器 電磁流量計/変換器 電動式バタフライ弁 配管温度検出器 パラマトリクス4(ポンプ) 	○	1回/年	自主	簡易保守
※非常時別途					

■自動制御設備(自動制御装置)

設備仕様	定期点検 ・ 測定業務	今回業務 実施項目	点検 サイクル	法定/自主	備考
ローカル制御機器 研究棟 (別紙計装図参照)	<ul style="list-style-type: none"> 熱源廻り制御 Infilex GC アクティバル電動2方弁 差圧発信器 デジタル指示調節器 電磁流量計/変換器 電動式バタフライ弁 配管温度検出器 パラマトリクス4 	○	1回/年	自主	簡易保守
	<ul style="list-style-type: none"> 熱交換機制御 アクティバル電動2方弁 蒸気遮断弁 積算熱量計 デジタル指示調節器 電磁流量計/変換器 配管温度検出器 	○	1回/年	自主	簡易保守
	<ul style="list-style-type: none"> 外調機制御 Infilex GC Infilex VC アクティバル電動2方弁 オペレータパネル 室内形温度センサー 蒸気遮断弁 挿入形露点センサー(インテリ) 挿入形温度調節器 デジタル指示調節器 微差圧スイッチ 	○	1回/年	自主	簡易保守
	<ul style="list-style-type: none"> 貯湯槽制御 アクティバル電動2方弁 蒸気遮断弁 挿入形温度調節器 デジタル指示調節器 配管温度検出器 	○	1回/年	自主	簡易保守
	<ul style="list-style-type: none"> 還水槽制御 電動ボール弁 	○	1回/年	自主	簡易保守
	<ul style="list-style-type: none"> 計測系統 室内形温度センサー 	○	1回/年	自主	基本保守
※非常時別途					

■自動制御設備(自動制御装置)

設備仕様	定期点検 ・ 測定業務	今回業務 実施項目	点検 サイクル	法定/自主	備考
ローカル制御機器 第一職員公舎 (別紙計装図参照)	<ul style="list-style-type: none"> 蓄熱槽・貯湯槽熱源廻り制御 配管温度検出器 積算熱量計感温部 蓄熱槽用温度検出器 電磁流量計/変換器 電極リレー Infilex GC 積算熱量計 挿入形温度調節器 低トルクアクチュエータ フランジ型電動三方弁 電動式バタフライ弁 	○	1回/年	自主	簡易保守
その他	<ul style="list-style-type: none"> 24時間緊急要請対応 	○	1回/年	自主	※非常時別途

■その他(フロン排出抑制法に伴う点検)

設備仕様	定期点検 ・ 測定業務	今回業務 実施項目	点検 サイクル	法定/自主	備考
空冷チラー 20台 (病院棟3セット18台) (研究棟1セット2台)	<ul style="list-style-type: none"> 点検作業一式 簡易点検 定期点検 	○ ○	4回/年 1回/年	法定 法定	放射線管理区域個別空調機・冷凍設備については、作業時に放射線安全管理者に作業内容の確認と承認を受けること。
パッケージエアコン(PAC) 室内機221台 (病院棟118台) (研究棟103台)	<ul style="list-style-type: none"> 点検作業一式 簡易点検 定期点検(改正フロン法の対象となる機器のみ) 	○ ○	4回/年 1回/年	法定 法定	
室外機 40台 (病院棟23台) (研究棟17台)	<ul style="list-style-type: none"> 点検作業一式 簡易点検 定期点検(改正フロン法の対象となる機器のみ) 	○ ○	4回/年 1回/年	法定 法定	
ターボ冷凍機	<ul style="list-style-type: none"> 点検作業一式 簡易点検 定期点検 	○ ○	4回/年 1回/年	法定 法定	

■その他(機器整備等)

設備仕様	定期点検 ・ 測定業務	今回業務 実施項目	点検 サイクル	法定/自主	備考
オイルサービスタンク 1基 (付属棟1基)	・ 外観点検、補修整備		1回/年		
オイルポンプ 3台 (病院棟3台)	・ メカニカルシール交換(Ｏリングを含む) ・ 軸受(モーター側・ポンプ側) ・ オーバーホール		1回/2年 1回/3年 1回/5年		
蓄熱槽 (別紙平面図参照)	・ 外観点検、補修整備		1回/年		
クリーンルームダスター (RD-SEZ-SP) (病院棟1台)	・ フィルター交換(メイン、プレ)	○	1回/年		
光速ストリーマー (病院棟12台)	・ 機器清掃	○	1回/年		
水平層流無菌病室 システム(アイソレータ) (無菌病棟3基)	・ HEPAフィルターを除くフィルター清掃 ・ HEPAフィルター交換	○	1回/年 1回/5年		